

手作りの夏祭り 地域の絆深める

今年も各自治会単位を中心とした夏祭りが市内各地域で開催されました。近所のおじちゃんやおばちゃんがお店の人として活躍、子どもたちが金魚すくいやヨーヨー釣りなどを楽しみ風景が見られました。希薄化が心配されるご近所同士のお付き合いですが、地域で開催される手作りの夏祭りは、人々の絆を深める絶好の機会であり、市民の皆さん一人ひとりが進めるまちづくりには欠かせないものとなっています。



甲南町希望が丘自治会で開催された納涼祭

県境越えて3市の絆深める ~カシオペアの会~



親子で楽しんだ陶芸体験

甲賀市と三重県伊賀市、亀山市の3市が県境を越えて広域連携の各種事業を展開している「カシオペアの会」。同会事業の一つとして、毎年恒例となっている夏休みの交流事業「鉄道で行くカシオペア事業inこうか」が8月24日に開催されました。

3市から小学生や保護者など約120名が参加、みなくち子どもの森では、自然館の見学や動植物の名前を当てながら散策するクイズラリーを楽しみました。信楽高原鉄道で移動した後、午後には信楽焼窯元で陶芸に挑戦。ろくろを回転させるのに苦心しながらも小鉢や皿などユニークな形の作品を作り上げました。

歌ぐみはげの木によるコンサート



となりました。開会式では、中嶋市長が命の大切さについて話し、人権が尊ばれる誰もが住みやすいまちづくりへの協力をお願いしました。

ユニークな「蚊やり器」が勢ぞろい

「いまだき、しがらき、かやりき」展

信楽焼の蚊やり器で地球に優しい暮らし方や生活スタイルを提案する「いまだき、しがらき、かやりき」展が8月1日から31日まで陶芸の森・信楽産業展示館で開催されました。展示された蚊やり器約300点は、地元の窯元や作家が製作したもので、蚊取り線香を置く、つる、引つ掛けるの3タイプ。タヌキやフクロウのほか、果物や登り窯など形もユニークで、訪れた人はほほ笑みながら作品を眺めていました。(表紙写真)



趣向を凝らした作品が並ぶ蚊やり器展

全国中学校総体へ出場

市内3中学校

県大会や近畿大会を勝ち抜いた市内の中学生が、全国中学校総合体育大会へ出場しました。出場したのは、水口中学校の陸上男子4×100mリレー6名、信楽中学校のバスケットボール男子17名、甲南中学校の剣道女子5名です。8月12日の壮行

会では、各校の代表が大会に向けての決意を力強く述べ、國松教育長が激励の言葉を贈りました。選手の方々は、全国の舞台でも全力を出し切り、なかでも信楽中バスケットボールと甲南中剣道はベスト16という成績を収められました。



全国大会に出場した選手の皆さん

旧東海道を踏破

～東海道五十三次ウォーク2008～



土山宿の古い町並みを歩く学生ら

旧東海道の踏破に挑戦している東京の文京学院大学の学生ら43名が8月28日、甲賀市に入り、土山宿から水口宿までを歩きました。

「東海道五十三次ウォーク2008」は、1994年から2年に一度開催されている同大学の名物イベントで、今年8月25日に三重県桑名市を出発、京都の三条大橋までの120キロを7日間かけてリレー方式でつなぎました。

一行は三重県亀山市の坂下宿を出発、雨の中、昔ながらに鈴鹿峠を越えて市内に入り、途中、東海道伝馬館で街道の歴史を学びました。

イベントの実行委員で3年の野口里奈さんは「旧東海道の道路や街並みが整備されていて楽しく歩きました。こんな素敵なまちに住みたいという参加者もいます」とウォーキングの感想を話しました。

いのち輝く未来のために

～第3回甲賀市人権教育研究大会～

市では、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題を市民みずからの課題として認識し、解決に向け実践していけるような取り組みを進めるため、第3回甲賀市人権教育研究大会を8月23日、忍の里プララで開催しました。

当日は、市民の皆さんをはじめ、企業や各種団体などから約300名が参加、人権について認識を深めました。

大会では、童謡を唄う会によるオープニングの後、甲賀市人権尊重の都市宣言が朗読されました。また、希望ヶ丘小学校と水口男女共同参画を考える会による実践発表や歌ぐみはげの木の人権コンサートが行われ、いろいろな角度から人権について学べる機会